

遊技施設(囲碁・将棋・マージャン店)における 事業継続のための新型コロナウイルス感染拡大予防対策例

新型コロナウイルスに感染しないように営業を継続するため、遊技施設(囲碁・将棋・マージャン店)が実施するサービス等の場面ごとに発生するおそれがある感染リスクへの対策例を整理しました。

皆さんの施設の状況や実情等にあわせて実践してください。

※ この対策例は最新の情報に基づき適宜更新していきます。

基本的な感染対策の徹底

◆マスクを着用し、「密閉」「密集」「密接」を避けましょう！

- ・「密閉」「密集」「密接」は一つでも感染例があります。「密閉」「密集」「密接」をさける
- ・人と人との感染防止距離を取る
- ・距離が取れない場合は屋外も含め短時間でも会話時にはマスクを着用
- ・こまめな換気の実施
- ・帰宅後や何かを口に入れる前後(喫煙も含めて)など、入念に都度都度手洗い
- ・家族など以外との会食を控える、体調に違和感がある場合は会食を避ける
- ・リスクの高い高齢者、基礎疾患のある方や妊婦と会われる際は、特に注意

新型コロナウイルス感染予防対策協賛店への参加

県版や業界ガイドラインを基に感染予防対策に取り組む事業者を、ステッカーの掲示や県HP(とりネット)に掲載して利用者にお知らせしています。

※協賛店の事業者の皆様は、

①協賛店の証であるステッカー

②感染予防対策協賛店実施内容を利用者の見やすい場所に掲示しましょう。

※ 随時募集中です。まだの事業者は是非、参加しましょう。



新型コロナ安心対策認証店制度

新型コロナ対策について自ら取り組む事業所を対象に、県が審査し認証を与える「認証店制度」を設けています。

新型コロナ対策で安全とおもてなしにつながる事業所へ、認証取得を県がサポートします。詳しくは、県庁くらしの安心推進課までご相談ください。



問合わせ先
新型コロナ克服くらしの
安心相談・応援窓口

東部 県庁くらしの安心推進課
中部 中部総合事務所環境建築局
西部 西部ワンストップセンター

☎0857-26-7982
☎0858-23-3982
☎0859-31-9637

感染リスクが高まる「5つの場面」

場面① 飲酒を伴う懇親会等

- 飲酒の影響で気分が高揚すると同時に注意力が低下する。また、聴覚が鈍麻し、大きな声になりやすい。
- 特に敷居などで区切られている狭い空間に、長時間、大人数が滞在すると、感染リスクが高まる。
- また、回し飲みや箸などの共用が感染のリスクを高める。



場面② 大人数や長時間におよぶ飲食

- 長時間におよぶ飲食、接待を伴う飲食、深夜のはしご酒では、短時間の食事比べて感染リスクが高まる。
- 大人数、例えば5人以上の飲食では、大声になり飛沫が飛びやすくなるため、感染リスクが高まる。



場面③ マスクなしでの会話

- マスクなしに近距離で会話をすることで、飛沫感染やマイクロ飛沫感染での感染リスクが高まる。
- マスクなしでの感染例としては、昼カラオケなどでの事例が確認されている。
- 車やバスで移動する際の車中でも注意が必要。



場面④ 狭い空間での共同生活

- 狭い空間での共同生活は、長時間にわたり閉鎖空間が共有されるため、感染リスクが高まる。
- 寮の部屋やトイレなどの共用部分での感染が疑われる事例が報告されている。



場面⑤ 居場所の切り替わり

- 仕事での休憩時間に入った時など、居場所が切り替わると、気の緩みや環境の変化により、感染リスクが高まることもある。
- 休憩室、喫煙所、更衣室での感染が疑われる事例が確認されている。



正しい手洗いの方法



正しいマスクの着用



新型コロナ克服5カ条

1 幸せは 予防で呼ぼう



2 人と人 間が愛だ



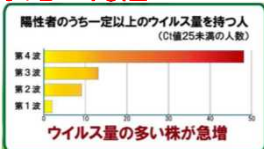
3 親しき仲にもマスクあり



4 密だとミスだ 避けるべし



5 株変異 うつりやすいぞ いっぺんに



消毒液の種類と用途

消毒液の種類	主な用途
石けん・ハンドソープによる手洗い	手指
アルコール (60%以上95%以下)	手指 物品
塩素系漂白剤等 (次亜塩素酸ナトリウム 0.05%以上)	物品

※ 以下を参考に、市販の塩素系漂白剤（主成分が次亜塩素酸ナトリウムであるもの）を薄めてください。また、商品によって濃度が異なりますので、商品パッケージやメーカーのHPの説明をご確認ください。

①ハイター、キッチンハイター（花王）
水1Lに25mL（商品付属のキャップ1杯）
②ブリーチ、キッチンブリーチ（ミツエイ）
水1Lに10mL（商品付属のキャップ1/2杯）

※ 樹脂製の手袋をつけて取扱いましょう。皮膚についた場合、ただちに水で洗い流しましょう。

※ 腐食性があるので、金属へ使用した後は必ず水拭きしましょう。

遊技施設（囲碁・将棋・マージャン店）の感染拡大予防対策

1 従業員の体調管理

- 従業員に出勤前に体温を測定させ、発熱や咳、咽頭痛等の症状がある従業員は自宅待機させましょう。
 - ▶ 従業員の体調不良を事前に把握することが重要です。
- 感染した従業員や濃厚接触者と判断された従業員の就業は禁止しましょう。
 - ▶ 体調不良の方が申し出られるよう、休暇を取りやすい環境・体制を作りましょう。

2 開店準備

- 利用者に対する一般的な感染予防対策を記載した啓発物を各所に掲示しましょう。
 - ▶ マスク着用の徹底、手洗い・手指衛生の徹底、体調不良時の申し出、厚生労働省が提供している接触確認アプリ（COCOA）の利用の呼びかけといった内容を記載しましょう。
- 出入口、サイドテーブル等に手指の消毒設備を設置し、利用者が手指消毒を行いやすい環境を整えましょう。
- 開店に備えて窓を開けるなど客席等施設内の十分な換気をしましょう。
 - ▶ 空気を入れ替えることが重要です。窓がない場合は換気扇、扇風機なども活用して空気の流れを作って吸入口（入口）と吹出口（出口）を意識して空気を入れ替えましょう。
 - ① 窓を開けても風が入りにくい場合の工夫
空気が入ってくる窓を小さく、空気を外へ出す窓を大きく開けて空気の流れを作りましょう。
 - ② 窓がない場合の工夫
換気口も無い場合は、ドアを開けて扇風機などで部屋の外に空気を出す流れを作りましょう。また、換気口がある場合は、ドアを開けて扇風機などで部屋の中に空気を送り込む流れを作りましょう。
 - ▶ 換気が必要換気量を満たしているかを確認する方法として、CO₂センサーを使用して室内の二酸化炭素濃度を測定し、1000ppmを超えないことを確認することも有効です。
- 従業員の出入りやお客様の動線は可能な限り分離しましょう。
 - ▶ 従業員を感染リスクから守ることも重要です。裏口等を活用しましょう。
- 従業員は来客用のトイレの使用を控えましょう。
 - ▶ 接触の機会を減らすことが重要です。お客様とトイレを共有する場合は、これまで以上に手洗いの励行を呼びかけましょう。
- 碁盤、将棋盤、マージャン卓の間隔を離し、人と人との距離（フィジカルディスタンス）を確保しましょう。
- 予約制や人数制限を行うなどにより、受入は、店内でお客様同士のフィジカルディスタンスを確保できる人数にしましょう。
- ドアノブ、手すり、碁盤、碁石、対局時計、将棋盤、駒、マージャン卓、牌、点棒、サイドテーブル、座席いす等の多くのお客様が触れる部分は入念に拭き取り清掃及び消毒液による消毒をしましょう。
- 感染予防対策に万全を期していることや具体的な対策を従業員で共有しましょう。
- 感染予防のためサービス内容の変更・中止を事前に検討しましょう。
 - ▶ サービス内容を変更・中止する場合は、その旨を掲示しましょう。
- 新型コロナウイルス感染予防対策協賛店はステッカーとチェックリストを入口に掲示しましょう。
- 鳥取県新型コロナ対策認証店はステッカーを入口に掲示しましょう。
- 厚生労働省が提供している接触確認アプリ（COCOA）の起動を呼びかける掲示物を入口や受付付近に掲示しましょう。

3 来店

- 来店時にお客様の体調確認を行い、発熱や咳、咽頭痛等の症状のあるお客様の入店はお断りしましょう。
 - ▶ お客様の体温確認のため、非接触型の体温計の導入も検討しましょう。
- 来店時にお客様がマスクを着用していることを確認しましょう。
 - ▶ マスクを持っていないお客様に備えて、提供できるマスクを用意しましょう。
- 来店時に厚生労働省が提供している接触確認アプリ（COCOA）の利用を推奨しましょう。
- 出入口に手指の消毒設備を設置し、入店時にお客様に手指消毒を要請しましょう。
 - ▶ 施設内での手指の洗浄や消毒の励行も呼びかけましょう。
- 受付や順番待ちのお客様が密集しないよう、間隔を空けて並んでいただいたり、連絡先を聞いて呼出すなどの対応をしましょう。
- 万が一感染が発生した場合に備え、事前予約制を用いたりするなどして、利用状況を1ヶ月以上保管しましょう。

4 接客

- 接客時には必ずマスクを着用し、咳エチケットを実践しましょう。
- こまめな手洗い又は手指消毒といった手指衛生を徹底しましょう。
- 直接対面で接客するときは、正面を避けるなど、人と人との距離（フィジカルディスタンス）を確保しましょう。

5 対局スペース

- 営業時間中は定期的に窓を開けるなど十分に換気をしましょう。
 - ▶ 空気を入れ替えることが重要です。窓がない場合は厨房の換気扇、扇風機なども活用して空気の流れを作って吸込口（入口）と吹出口（出口）を意識して空気を入れ替えましょう。
 - ▶ 冬場など寒冷な場面においては、室温の急激な低下を避けるため、換気したい部屋に直接冷たい空気を入れるのではなく、いったん隣接する別の部屋に空気を入れ、少し暖まった状態の空気を、換気したい部屋に取り入れる2段階の換気や、HEPAフィルター付きの空気清浄機の使用も有効です。
 - ▶ 換気が必要換気量を満たしているかを確認する方法として、CO₂センサーを使用して室内の二酸化炭素濃度を測定し、1000ppmを超えないことを確認することも有効です。
- 碁盤、将棋盤、マーじゃん卓は、フィジカルディスタンスがとれるようお客様同士の間隔を最低1m以上確保できるように配置しましょう。
 - ▶ 他のグループのお客様同士はフィジカルディスタンスを確保できる席に案内し、フィジカルディスタンスがとれない場合は、パーティション等で遮蔽しましょう。
- 碁盤、将棋盤、マーじゃん卓上には、パーティション、ビニールカーテン等を設置して、お客様同士を遮蔽しましょう。
- 対局中は常時マスクを着用するよう要請しましょう。
- 飲食や喫煙は休憩スペースや喫煙スペースでのみ行うこととし、対局中の飲食や喫煙は禁止しましょう。
- 店内に手指の消毒設備を設置し、1局の前後でお客様に手指消毒を要請しましょう。

- ・ドアノブ、手すり、碁盤、碁石、対局時計、将棋盤、駒、マージャン卓、牌、点棒、サイドテーブル、座席いす等の多くのお客様が触れる部分は定期的に消毒を行きましょう。
- ・お客様に、大声での会話は控えていただくよう要請しましょう。
 - ▶ 大声での会話を控えていただくために、店内 BGM の音量を小さくしましょう。
- ・お客様同士の接触は控えていただくよう掲示しましょう。
- ・対局者以外のお客様は、対局者の近くで対局の観覧等を行わないように要請しましょう。

6 休憩・喫煙スペース

- ・お客様同士が対面とならないように、フィジカルディスタンスを確保できるよう案内し、フィジカルディスタンスが確保できない場合はアクリル板等でお客様同士を遮蔽しましょう。
- ・一度に使用する人数を制限し、掲示しましょう。
- ・会話の際はマスクを着用するよう、掲示等により要請しましょう。
- ・食事を提供する場合は、「飲食店における事業継続のための新型コロナウイルス感染拡大予防対策例」を参考に、密閉、密集、密接の感染リスクを減らしましょう。
- ・喫煙スペースは使用時以外も常時換気し、吸い殻交換とテーブル清拭を頻繁に行いましょう。

7 会計

- ・会計をするときは、直接の対面を避けるために従業員とお客様の間をアクリル板や透明ビニールカーテンで遮蔽しましょう。
 - ▶ 飛沫感染を防止することが重要です。アクリル板等で遮蔽ができない場合は、お客様と従業員がともにマスクを着用して咳エチケットを実践し、お客様とのフィジカルディスタンスを確保して、飛沫対策を行いましょう。
- ・電子決済を活用しましょう。現金等を扱う場合は手渡しを避け、トレイに置いて受け渡しましょう。
- ・金銭やカードの受け渡し後は手やレジを消毒しましょう。

8 営業終了後の片付け

- ・清掃は、窓を開けて十分に換気してから作業を開始しましょう。
- ・ドアノブ、手すり、碁盤、碁石、対局時計、将棋盤、駒、マージャン卓、牌、点棒、サイドテーブル、座席いす等の多くのお客様及び従業員が触れる部分は拭き取り清掃及び消毒液による消毒をしましょう。
- ・ゴミ出しを行う場合は、マスクや手袋を着用しましょう。マスクや手袋を外した後は必ず手を洗いましょう。

9 その他

- ・洋式トイレでは蓋を閉めて汚物を流すよう呼びかけましょう。
- ・手洗い場のハンドドライヤーは中止して、ペーパータオルを用意しましょう。
- ・ゴミは蓋つきのごみ箱に入れて密閉しましょう。
- ・従業員の制服等はこまめに洗濯しましょう。
- ・従業員が利用する事務室・休憩室・更衣室等も換気や拭き取り清掃及び消毒液による消毒を徹底するとともに、一度に休憩する人数を減らし、対面での食事や会話をしないようにしましょう。